

滋賀支部研修報告

1. 日 時 平成21年11月12日(木) 午後1時30分～午後4時30分
2. 会 場 長浜市立南郷里小学校
3. 内 容 授業を伴う支部研修会
4. 司 会 長浜市立長浜小学校 教諭 青木和子
5. 参加者 14名

滋賀支部の研究テーマ「子どもがのりだし、追究し続ける姿をめざしてⅡ」を授業研究を通して、子どもたちの「問い」を持たせる場面。その問いを継続させる手だての工夫に取り組みました。

昨年度の研究から、「教材との出会わせ方や追究活動の工夫により意欲的な学習活動ができる。」といった成果が現れる一方、実験・観察の方法の工夫や実験前後の予想の立て方やまとめ方、交流のあり方などが課題として見えてきました。

そこで、以下の点を重視した授業を展開を工夫しテーマに迫ろうとしました。

①科学的興味・関心・疑問を喚起させる題材との出会わせ方

・導入時に子どもに興味・関心を培うことで「試してみたい。」という意欲を持たせる。その時「おや！」「なぜ？」「どうなんだろう？」という問いを持たせるようにする。

②自らの問いを持ち、追究する活動の工夫

・授業展開や実験のさせ方を工夫することにより、系統的な追究活動をさせる。また、見方を与えることにより事物現象に疑問を抱かせ、追究したいという思いを持たせる。

③科学的思考を深める手だて

・実験や観察で見つけたことや考えを整理できるまとめ方を工夫することで、課題意識や学習の見通しを持てるようにする。思考を深め、新たな疑問を持ち、追究しようとする交流の仕方を探る。

①子どもの興味・関心を高める導入の工夫 第1次

☆課題2:「秤からはみ出しても重さは変わらないのかな?」...

・子どもの問いにしていくなかに体重をはかる体験が生きる。



☆教師が、身近な生活体験の中から問題提起する。

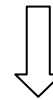
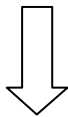
・体重のはかり方...片足のとき、「グツ」と力を入れたとき。

・小包のはかり方...送料を安くするためのはかり方



質量保存の法則

「問いの続」



☆課題3:「形が変わったら重さは変わるのかな?」...

・分解 細長く 丸く 平らに...

実験で確かめる。

・新しい見方、考え方...

形が変わっても重さは変わらない。



子どもの問いに変わる

☆課題1:「はかりへの置き方(小包を縦や横に置く)によってももの重さは、違うのか?」...子どもへのアンケートの結果から課題づくり。

・40%の子どもが重さが違うと考えている。60%の子どもは重さは同じと考えている。(理由付けはできない。)

